

大人にはなかなか理解できないのですが、子どもというのは繰り返しが好きです。

同じ話を何度も何度も聞こうとします。大人には、よく飽きないなと思ような話でも、何回でも聞きたがります。

私の娘が幼児だった頃、寝る時間になると、いつも同じ話をせがまれたものです。一日に三回も四回も同じ話をしたこともありました。

自分が好きなことは徹底して好きというのが子どもです。飽きるということがありません。昨日読んでやった本を、次の日も、その次の日もまた読まれたという経験は、みなさんにもあるのではないかと思います。

このように幼児は繰り返しが好きだという本性をよく理解しておくことが肝要です。

漢字を覚えるまでは、どんな親でも何度も繰り返してやりますが、いったん覚えてしまったと思うと、つい反復練習を怠ってしまいがちです。

しかし大切なのは、覚えてからの反復練習です。言葉や文字の学習では、それを覚えることよりも、使うことに意味があります。覚えるまでの

練習より、覚えてからの使い方のほうがずっと大切なのです。

幼児は繰り返しが好きなので、その特性を漢字教育にも応用してください。教え放しにしないで、何度も何度も繰り返すのです。そうすることによって、漢字を脳に深く刻み込ませるのです。